

「思い出の写真」 第3回

クリスマス・キャロリング

平口 哲夫

この写真は、2003年12月24日(水)に若草教会のキャロリングご一行が金沢市小將町にある拙宅を訪れてくださったときに撮ったものです。

以前住んでいた金沢市つつじが丘の旧宅は、両親が住んでいた家に隣接した中古住宅を、1977年5月に父が亡くなったのを機に購入し、渡り廊下で母屋と行き来できるようにして、母とは同居別棟の生活を長年共にしてきました。2002年7月に母が亡くなったあとも、私はそこに住み続けるつもりだったのですが、知人から小將町の一角に宅地が売り出されるという情報がもたらされ、私より6歳若い連れ合いがすっかり乗り気になったも



のですから、私のほうが先に天に召される確率が高いことを思って、移転することにしました。

2003年5月24日(土)の起工式では、楠本史郎牧師に「岩の上に家を」と題する説教をしていただいたところ、工事の親方が文字通りに受けとめて礎のコンクリートを一般住居にしては堅固にしたものですから、北側の隣地に住む人が「いったいどんなマンションが建つのか」と心配したという話を、後日、町内の人から聞きました。

この吹き抜けのフロアで歌をうたうと、よく響きます。写真で楠本先生が立っておられる辺りに、現在、電子キーボードが置いてあるのは、2004年4月に脳梗塞を発症し、右指に麻痺が残ったため、リハビリを兼ねてキーボードの練習しようと思って購入したのですが、宝の持ち腐れになっていますので、どなたかオルガンの上手な人に弾いていただいて歌をうたうことができれば幸いに存じます。

(すなどり No.216 から転載・修正)